

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	滋賀県 高島市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	高島市文化遺産を活かした地域活性化事業実施計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「第2次高島市総合計画」(2-2-4-①歴史・文化の情報発信と次世代への継承、4-1-4-①日本遺産や水辺の景観の継承と活用)および「高島市教育大綱」を踏まえ、地域の文化遺産を次世代へ継承するとともに地域活性化を推進するため次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「記録」を読む会開催事業 ・シコブチ信仰に関する文化財の案内機能強化事業 ・シコブチ信仰に関する案内ガイド人材育成事業 ・高島音頭(針畑音頭)大会の開催 ・昔の漁業体験会の開催事業 ・六斎念仏踊りの普及啓発のための発表会開催 ・マキノの生活文化資料の収集、保存と調査 ・朽木の知恵と技発見・復活事業 ・六斎念仏踊り継承事業 ・高島音頭継承事業 			
6 実施体制			
<p>高島市教育委員会が、本実施計画に係る全体の調整や、各補助事業に係る指導等を行う。また補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>高島市文化遺産活用実行委員会 構成団体(安曇川流域文化遺産活用推進協議会、マキノ資料保存実行委員会、朽木の知恵と技発見プロジェクト、高島の盆踊り歌保存会)</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 13,111 千円	平成29年度申請額： 5,545 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果(定性的な効果を記載)			
<p>日頃、あまり知られていない地域の文化遺産の価値を明らかにするとともに、継承者育成や普及事業を実施していくことで、地域の文化遺産の適切な保存と継承をはかることができる。具体的には六斎念踊りの必要人数である7人に近い数の継承者を育成することができるほか、継続的に地域の文化遺産を案内することのできる案内人を養成することができる。</p>			
10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>現在の計画が終期となった段階で、高島市第2次総合計画、文化財関係計画、(仮称)高島市歴史ミュージアム構想等を踏まえた検証を行い、事業の継続・見直し、および歴史文化基本構想策定の必要性を検討する。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	高島市教育委員会事務局 教育総務部 文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	地域の文化遺産などの見学者数			関連事業 :	②、③	
目標値 1 :	平成 28 年度 30 人 ⇒ 平成 33 年度 50 人					
設定根拠 1 :	平成28年度までの見学者数と周辺観光地の状況から判断して、毎年度伸び率1.2倍と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	高島の盆踊歌保存会の会員数			関連事業 :	①、④、⑤、⑦、⑧、⑩	
目標値 2 :	平成 28 年度 80 人 ⇒ 平成 33 年度 100 人					
設定根拠 2 :	各地域での保存会活動状況から予想される人数を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	古屋六斎念仏踊り保存会の会員数			関連事業 :	⑥、⑨	
目標値 3 :	平成 28 年度 5 人 ⇒ 平成 33 年度 8 人					
設定根拠 3 :	平成28年度事業で誕生した継承者候補の状況から設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑦：	マキノの生活文化資料の収集・保存と調査					実施団体：	マキノ資料保存実行委員会				
事業区分：	調査研究					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	マキノ地域に残る生活文化資料（古文書・民具・写真資料等）を調査・保存し、次代に継承できる保管を進める。また資料を写真撮影し、調査・閲覧に供し、多くの人に地域に残る歴史遺産の価値を知ってもらう。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	地域に残る歴史遺産の重要性、必要性が理解できる人数（自主設定目標）										
目標値：	平成 29 年度 10 人					⇒ 平成 33 年度 15 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑧：	朽木の知恵と技発見・復活事業					実施団体：	朽木の知恵と技発見プロジェクト				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	朽木で古くから行なわれてきた植物繊維の織物の技術を調査し、復活・継承を目指す。現在は一般的に作られていないので、その技術が消滅しつつある。朽木地域には、わずかながら技術継承者や道具類が残っていることから、それらの保存・継承に努める。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	植物繊維での糸作り等の技術継承者の数										
目標値：	平成 29 年度 0 人					⇒ 平成 33 年度 3 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑨：	六斎念仏踊り継承事業					実施団体：	朽木の知恵と技発見プロジェクト				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	踊り手の高齢化等のため、継続した実施が難しくなっている朽木古屋の六斎念仏踊りの継承を目指す。地元の継承者から指導を受ける機会を設け、新たな後継者を育成する。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	六斎念仏踊りの継承者の増加数										
目標値：	平成 29 年度 2 人					⇒ 平成 33 年度 4 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						

事業⑩：	高島音頭継承事業					実施団体：	高島の盆踊り歌保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	お盆の時期に市内各地で行なわれている高島音頭を撮影し、踊り方を継承するための映像資料を作成する。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）							(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	高島音頭継承者の数										
目標値：	平成 29 年度		50 人		⇒		平成 33 年度		80 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						